

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月10日

上場取引所 東大

上場会社名 株式会社 AOKIホールディングス

コード番号 8214 URL <http://www.aoki-hd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 青木 拓憲

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 中村 憲侍

TEL 045-941-4888

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	96,187	1.6	5,435	1.2	6,145	0.5	2,945	28.4
21年3月期第3四半期	97,701		5,370		6,115		2,294	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	69.02	
21年3月期第3四半期	49.96	49.95

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	155,159	96,621	61.9	2,250.11
21年3月期	153,530	94,712	61.4	2,207.90

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 96,019百万円 21年3月期 94,221百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期		15.00		15.00	30.00
22年3月期		15.00			
22年3月期 (予想)				15.00	30.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	129,720	1.8	7,800	19.3	8,700	17.6	3,400	2.5	79.67

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、5ページ[定性的情報・財務諸表等]4.その他をご参照ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

会計基準等の改正に伴う変更 無

以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 49,124,752株 21年3月期 49,124,752株

期末自己株式数 22年3月期第3四半期 6,451,235株 21年3月期 6,449,846株

期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 42,674,234株 21年3月期第3四半期 45,923,179株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・上記の業績予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確実な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想の前提等については、4ページ[定性的情報・財務諸表等]3.連結業績予想に関する定性的情報をご参照ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の改善や政府の景気対策等により明るい兆しが見えるものの、企業業績の回復は不透明であり、個人消費も雇用情勢や所得環境の悪化から引き続き厳しい状況が続いております。

このような厳しい環境のなかで、当社グループは各事業において下記のような諸施策を実施いたしました結果、売上高は961億87百万円（前年同期比1.6%減）、営業利益は54億35百万円（前年同期比1.2%増）、経常利益は61億45百万円（前年同期比0.5%増）、四半期純利益は29億45百万円（前年同期比28.4%増）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、以下のとおりです。

（ファッション事業）

AOKIでは、引き続き経済環境やお客ニーズの変化に対応し、時代にあった新商品の開発や都心への出店等により顧客満足度向上に努めてまいりました。

商品・営業面におきましては、信州大学（繊維学部）と産学協同で開発した気温の変化に合わせてスーツの温度を自動調節する「プレミアムサーモスタットスーツ」や、しわになりにくく折り返し強い「プレミアムタフスーツ」等の機能商品を軸とし、テレビCM、チラシ、演出を強化しご提案するとともに、「信頼できる品質の商品を、お値打ちに購入したい」というお客様のニーズにお応えするセールを実施し、ご好評いただきました。店舗面では、都心出店戦略として当第3四半期に秋葉原店、渋谷宮益坂店及び同じく重要エリアである福岡に大型店の福岡天神本店を含め、期初からの累計で22店舗を新規出店する一方、3店舗を閉鎖いたしました。この結果、当第3四半期末の店舗数は、432店舗（前期末413店舗）となっております。

ORIHICA（オリヒカ）は、20代から30代のニューファミリーをコアターゲットとし、着回しを重視した新しいビジネス&ビジカジスタイルを提案する商品企画・開発を継続する一方で、ショッピングセンター、駅ビル及び路面店の3タイプの標準型の磨き上げに注力してまいりました。店舗面では、当第3四半期にショッピングセンターへ出店した3店舗を含め、累計で7店舗を新規出店した結果、当第3四半期末の店舗数は、52店舗（前期末45店舗）となっております。なお、平成21年10月1日にAOKIと合併したカジュアル衣料専門店M/X（エムエックス）は、今後を見据えて事業を縮小し、AOKIとの複合店2店舗を除く35店舗を平成22年1月中旬までに閉店しております。

これらの結果、新規出店店舗や機能商品は順調に推移する一方で、引き続き景気の低迷等によるスーツ等の1品単価の低下や20代から30代のビジネスマンのお客様の減少等による既存店の減収により、当第3四半期累計期間の売上高は618億86百万円（前年同期比3.1%減）、営業利益は20億3百万円（前年同期比26.0%減）となりました。

（アニヴェルセル・ブライダル事業）

ゲストハウスウェディングスタイルの挙式披露宴施設を展開している株式会社ラヴィスは、すべてのお客様に心からご満足いただけるブライダルサービスをご提供するため、引き続き人財の育成に注力するとともに、新ドリンクプランの導入や料理メニューの変更など店舗毎のきめ細かな諸施策を実施したことにより売上高の増加につながりました。また、既存施設のリニューアルを順次実施し、さらにお客様にお喜びいただける施設に磨き上げてまいります。

これらの結果、売上高は176億98百万円（前年同期比1.9%増）、営業利益は21億47百万円（前年同期比28.2%増）となりました。

（エンターテイメント事業）

カラオケルーム運営事業は、手軽な忘年会として地域に密着した法人企業の宴会獲得やインターネットを活用した新規顧客開拓等、集客のための販促を強化するとともに、リーズナブルな宴会コースを提案いたしました。複合カフェ運営事業は、グランドメニュー刷新や季節に合わせた限定メニューの販売、「無料モーニング」や「500円ランチ」の実施等によりフード売上が好調に推移し、また顧客満足度向上のための接客力強化や店舗美化の徹底により滞在時間の延伸につながりました。これらの諸施策により30代から50代の社会人を中心としたお客様のご利用が増加いたしました。店舗面では、第3四半期累計でカラオケルーム運営事業では11店舗の新規出店と1店舗の閉鎖、複合カフェ運営事業は14店舗の新規出店と2店舗を閉鎖いたしました。この結果、当第3四半期末の店舗数はカラオケルーム運営事業で117店舗（前期末107店舗）、複合カフェ運営事業で122店舗（前期末110店舗）となりました。

これらの結果、売上高は166億12百万円(前年同期比0.6%増)、営業利益は12億53百万円(前年同期比21.8%増)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ16億29百万円増加し、1,551億59百万円となりました。

流動資産は、新規出店等によるたな卸資産が17億67百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比べ16億98百万円増加いたしました。固定資産は、新規出店等による有形固定資産が4億10百万円増加する一方、差入保証金の返還等による減少4億76百万円により、前連結会計年度末と比べ68百万円減少いたしました。

流動負債は、短期借入金14億円及び1年内返済予定の長期借入金12億44百万円増加した一方、法人税等の支払いにより未払法人税等が39億38百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ12億28百万円減少いたしました。固定負債は、設備資金として長期借入金10億90百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比べ9億48百万円増加いたしました。

純資産の部は、四半期純利益等による利益剰余金が16億64百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比べ19億9百万円増加しております。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べ7億82百万円減少し、135億28百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、18億54百万円の収入となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が49億40百万円、減価償却費が38億94百万円となった一方、たな卸資産の増加額が17億67百万円及び法人税等の支払額が55億8百万円となったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、43億47百万円の支出となりました。これは主に、新規出店等に伴う有形固定資産の取得38億49百万円の支出によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、17億10百万円の収入となりました。これは主に、長期借入金の返済56億65百万円及び配当金12億73百万円を支出する一方、短期借入金の純増加額14億円及び長期借入を80億円実施したことによるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期連結業績予想につきましては、概ね平成21年11月6日に開示した計画どおり推移しており、通期業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

簡便な会計処理

(棚卸資産の評価方法)

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出については、一部の連結子会社において実地棚卸を省略し、当第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

(固定資産の減価償却費の算定方法)

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法)

繰延税金資産の回収可能性の判断については、当社及び一部の連結子会社において、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

(税金費用の計算)

税金費用については、一部の連結子会社において当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5.【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,528	14,810
売掛金	4,271	4,816
たな卸資産	17,668	15,900
その他	6,225	4,466
貸倒引当金	6	5
流動資産合計	41,687	39,989
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	40,508	40,033
土地	26,563	26,563
その他(純額)	7,713	7,778
有形固定資産合計	74,786	74,375
無形固定資産		
投資その他の資産	3,978	4,074
差入保証金	10,007	10,483
敷金	15,632	15,095
その他	9,151	9,596
貸倒引当金	84	85
投資その他の資産合計	34,707	35,090
固定資産合計	113,472	113,541
資産合計	155,159	153,530
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,111	14,130
短期借入金	4,400	3,000
1年内償還予定の社債	1,080	820
1年内返済予定の長期借入金	8,091	6,847
未払法人税等	648	4,587
賞与引当金	687	1,182
役員賞与引当金	84	100
その他	6,481	7,147
流動負債合計	36,586	37,815
固定負債		
社債	-	670
長期借入金	15,090	14,000
退職給付引当金	566	463
役員退職慰労引当金	926	902
ポイント引当金	606	604
負ののれん	1,967	2,211
その他	2,794	2,150
固定負債合計	21,952	21,003
負債合計	58,538	58,818

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,282	23,282
資本剰余金	24,788	24,788
利益剰余金	55,019	53,354
自己株式	7,077	7,076
株主資本合計	96,012	94,348
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	7	127
評価・換算差額等合計	7	127
新株予約権	601	490
純資産合計	96,621	94,712
負債純資産合計	155,159	153,530

(2)【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	97,701	96,187
売上原価	53,321	52,572
売上総利益	44,380	43,614
販売費及び一般管理費	39,010	38,179
営業利益	5,370	5,435
営業外収益		
受取利息	72	74
受取配当金	69	44
不動産賃貸料	669	629
負ののれん償却額	731	729
その他	298	220
営業外収益合計	1,840	1,697
営業外費用		
支払利息	202	252
不動産賃貸費用	638	616
その他	253	118
営業外費用合計	1,095	987
経常利益	6,115	6,145
特別利益		
貸倒引当金戻入額	0	-
固定資産売却益	6	-
投資有価証券売却益	-	147
補助金収入	-	41
役員退職慰労引当金戻入額	10	-
その他	-	9
特別利益合計	17	198
特別損失		
差入保証金・敷金解約損	69	97
固定資産除却損	124	328
投資有価証券評価損	110	25
減損損失	563	744
過年度退職給付費用	-	48
その他	44	160
特別損失合計	913	1,404
税金等調整前四半期純利益	5,219	4,940
法人税等	2,925	1,995
四半期純利益	2,294	2,945

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,219	4,940
減価償却費	3,661	3,894
減損損失	563	744
のれん償却額	535	438
負ののれん償却額	731	729
退職給付引当金の増減額(は減少)	15	102
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	42	24
ポイント引当金の増減額(は減少)	46	1
受取利息及び受取配当金	142	119
支払利息	202	252
差入保証金・敷金解約損	69	97
固定資産除却損	80	243
投資有価証券売却損益(は益)	-	147
投資有価証券評価損益(は益)	110	25
売上債権の増減額(は増加)	850	544
たな卸資産の増減額(は増加)	2,247	1,767
仕入債務の増減額(は減少)	1,451	1,030
その他	492	2,026
小計	9,113	7,551
利息及び配当金の受取額	105	62
利息の支払額	187	266
法人税等の支払額	5,624	5,508
法人税等の還付額	-	15
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,406	1,854
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	6,693	3,849
無形固定資産の取得による支出	296	144
敷金及び保証金の差入による支出	2,231	920
投資有価証券の取得による支出	291	-
投資有価証券の売却による収入	20	355
信託受益権の純増減額(は増加)	56	523
その他	192	735
投資活動によるキャッシュ・フロー	9,357	4,347

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	5,400	1,400
長期借入れによる収入	8,000	8,000
長期借入金の返済による支出	4,635	5,665
社債の償還による支出	1,180	410
自己株式の処分による収入	22	-
自己株式の取得による支出	2,698	1
配当金の支払額	1,358	1,273
少数株主への配当金の支払額	37	-
その他	105	339
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,406	1,710
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	2,544	782
現金及び現金同等物の期首残高	17,254	14,310
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,709	13,528

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	ファッション事業 (百万円)	アニヴェルセル・ブライダル事業 (百万円)	エンターテイメント事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	63,832	17,354	16,514	97,701		97,701
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	3	6	0	10	(10)	
計	63,836	17,360	16,515	97,712	(10)	97,701
営業利益	2,708	1,675	1,029	5,413	(43)	5,370

(注) 1 事業区分は、商品の種類・性質等の類似性を考慮して区別しております。

2 各事業区分の主要な内容

ファッション事業..... スーツ等主にメンズ衣料の販売

アニヴェルセル・ブライダル事業..... ブライダル関連のサービス等の提供

エンターテイメント事業..... カラオケルーム等のエンターテイメント施設の運営

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	ファッション事業 (百万円)	アニヴェルセル・ブライダル事業 (百万円)	エンターテイメント事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	61,882	17,692	16,612	96,187		96,187
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	4	5	0	10	(10)	
計	61,886	17,698	16,612	96,197	(10)	96,187
営業利益	2,003	2,147	1,253	5,404	30	5,435

(注) 1 事業区分は、商品の種類・性質等の類似性を考慮して区別しております。

2 各事業区分の主要な内容

ファッション事業..... スーツ等主にメンズ衣料の販売

アニヴェルセル・ブライダル事業..... ブライダル関連のサービス等の提供

エンターテイメント事業..... カラオケルーム等のエンターテイメント施設の運営

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)において本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)において海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。